

## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市 Tel 0263-71-2000
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,205,873 円 (うち支援金 : 701,000 円)

### 事業内容

#### 1 桜植樹に向けたプロジェクトの設置

市民主体で、平成26年度「補植や水対策、鳥獣害対策」、「周辺の動植物のあり方」、「山城である光城山の歴史文化の研究・伝承」、「観光振興」の4本柱で審議を行う光城山1000人SAKURAプロジェクトを設置し、本年度は6回開催し、検討を行った。

#### 2 桜の植樹による植樹及び管理体制の基盤整備

市民と行政の協働による事業推進を図るため、平成26年度に市民主体のプロジェクト、地元の皆さんのご協力により60本の桜を植樹した。地域の宝を地域で守っていこうとする責任と役割を持つことにより、市民と行政の協働の基盤ができた。



#### 【目標・ねらい】

- ①桜植樹に向けたプロジェクトの設置
- ②桜の植樹（桜の樹種、植栽方法、管理方法のための試験）

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

地元の皆さんのご協力により、地域の宝を地域で守っていこうとする協働の基盤ができた。

また、桜の植樹やその管理、周辺自然環境の保全、歴史・文化の伝承など行うことで、安曇野の観光振興、市民の健康増進にも寄与した。

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

広く市民を巻き込んで行う桜の植樹事業を通じて、一層の協働のまちづくりの推進を図ることができ、市の一体感の醸成につながった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

県や県林業総合センターとの連携による審議・検討、また多くの市民を巻き込み実施することの取り組みが、市民と行政の協働のモデルとなった。今後さらに、光城山にとどまらず広域的な取り組みへと発展する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある